

ふじぎとぶん

あめに うんざり

第157号

2014年
6月号

まいにち あめの ふじぎ

「あーっ、おそとで あそびたい。 どうして、 まいにち あめ ばっかりなのかしら。」
「みいこちゃん、おばあちゃんにならった ちまきを つくって みたけれど、はやく たべないと カビが はえてしまうから、くまたらうはかせの ところに、すぐ もっていってくれる？」
と、おかあさん。
「はあーい。」
たいくつしていた みいこちゃん は、 おおよろこび。
ながぐつを はき、レインコートを きて でかけました。
「ちまきとは なつかしいですね。 ありがとう。 まいとし、あめが つづくこのきせつを 『つゆ』と いいます。 つゆになると、 ちょうど にほんの



おそらの うえで、きたの つめたいくうきの かたまりと、みなみの あたたかい くうきの かたまりが ぶつかります。 どちらも おなじくらい つよくて、 ゆずりません。 そこで できた あまぐもは うごけないで、 まいにち あめに なるのですよ。」
「わかった、なつには あたたかいかたまりが かつのでしょう。」
「そのとおりです。 まいにち あめだと たいへんですが、 つゆの あめは、 やさいやくさ きが そだつには、 かかせません。 とくに、たうえが おわったばかりの たんぼの いねは、 あきに おいしい おこめに なるために、いま、 たくさんの みずが いるのです。」
なるほどと うなずいた みいこちゃん。 おいしい「ほんの ため、あめも がまんするそうです。」

かんたん？ いがい？ ためしてみよう！

あめの おそとには なにが ある？

あめのひの おそとで そらを みてみよう。

どんないろ？ どんなくも？

あめのひの おそとで きや はなを
みてみよう。

すいてきがいっぱい？

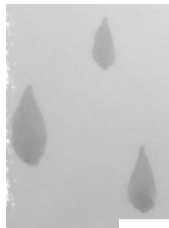
げんきそう？ おもそう？

あめのひの おそとで あしもとを みてみよう。

どうろに みずたまりがある？

なにが うつつてる？

あめの おとは どんのかな？



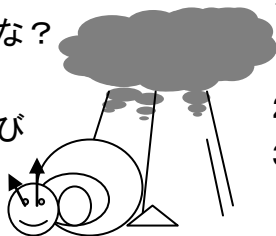
クイズコーナー

1

かたつむりは あめが
すきだって いうね。

ほんとうに あめが ふると
おそとに でてくるのかな？

ほんとは はれの ひの
ほうが そとで のびのび
しているのかな？



2

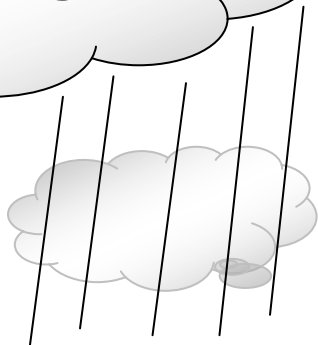
つゆどきは かびが
はえやすい。つぎの
どれが ほんと？

1. おひさまが いない
から はえる
2. さむいから はえる
3. かたつむりが はった
ところに はえる

おかいものなら

スーパーたなか

あめのひには、
なんでも
1わりびき
とつても
おとくです



みんなが みつけた ふしぎ

あのとり、おはなを つんでるの？
たべてるの？

また、おとした。 へただね。

(さくらに きていた とりを みて)



(Shizuko)

みんなも みつけた
ふしぎ おしえてね



いつしよに 雨の中

最近梅雨入り宣言される割には、晴れが多く、空梅雨だと言われる年も多いように感じていました。今年は五月の終わりから、晴れ間が出てジメジメした湿気が押し寄せてきています。この後どうなるでしょうか。

毎日のように雨だということを、幼い子供が感じるのは、登園の時の雨靴とレインコート、傘の存在にでしょうか。ものによっては撥水加工で降り掛かった雨粒がころころ丸くなって転がっていきます。これも初めて気がついたときには、とても不思議なことでしょう。

5月号の「雲」も、見飽きぬ不思議をはらんでいます。雨にも多くの発見があります。皆様から寄せていただく不思議でも、とても多い題材です。

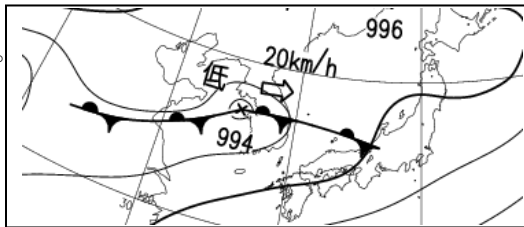
先の水滴の報告も、先月号の水たまりに雨粒が作る泡もその一つです。雨上がりに枝先の水滴が虹の玉になることも、雨が降り出すと土の匂いも報告がありました。雨の日はお日様のスイッチが切れていると、さすが電気文明の現代らしい発言も。「雨の日は暗いこと」と「明るいこととお日様」「あかるいことと電気」の関係の理解が垣間見えて面白いですね。このような多くの発見や、周りの人の言葉もあり、経験もして、自分なりに咀嚼して納得した、「雲がいつぱい灰色だと雨なんだね。」という価値ある経験則の報告もありました。

大人にとって当たり前なことは、幼い時期のどこかでずとんと自分の気持ちの中に収まって、初めて当たり前になるのでしょうか。その時を、報告を寄せてくれた子供達は、まさに通過しているのだと思います。

おそらく、あと何年もしないで、子供自身は自分の言葉も、納得した時の感動も忘れてしまうことでしょう。それでも、自力で獲得した概念は、揺るぎなくその後の理解の基礎を支えるものになります。

自力で獲得する体験そのものは、その後の学びの姿勢を決めていきます。ぜひ、この時期の発見をほめてあげてください。ともに、共感を持って不思議を感じてください。

私は後になって、気がつきました。子供に寄り添っていたつもりで、私の方が寄り添ってらったのだと。幼い者よ、あなたの見つけた不思議を共有させてもらっていただけですね。もう一度、子供に還れる機会をありがとう。



去年の六月中旬の梅雨前線

子供が見つけた不思議・ミニ解説

春先に梅や桜の花が二輪、三輪と木の下に落ちています。Shizuko ちゃんが見つけたように、枝先の小鳥をよく見ていると、花の付け根付近をボキッと折り取って、その後何やらもぐもぐして、ポイトと捨てます。この鳥はいたずらをしているわけでも、花を食べているわけでもありません。花の根元の蜜をついばんでいるのです。落ちた花の花びらの付け根、子房辺りを見ると盗蜜の証拠に穴があります。それにしても、ちぎらなくともいいのになあとと思います。まあ、虫媒花の蜜は虫に花粉をつけてもらうため、花の奥にあるのだからしかたがないのでしょうか。どのような鳥が蜜を食べるのか、鳥の生態を調べてみました。すると、このへたくそさんは主にスズメで、メジロやヒヨドリは散らさず舌で蜜をなめ、昆虫のように花粉をつけて受粉の助けをするそうです。そうか、スズメは舌が短い、舌切り雀のお話はちゃんとスズメの特徴を表していたのですね。

HP 自由研究掲載・カビにご注意

メインテーマではありませんが、ちょっと油断すると本当に黴びやすい季節です。ご油断なく。黴びちゃったら捨てますが、ちょっとだけそのふしぎな色や生え方をみておくのも、おもしろい体験です。手が触れたなど、生える場所には訳があります。ふしぎ新聞は皆様がお寄せくださるふしぎでできています。お便りをお待ちしています。新聞はHPより無料にてダウンロード可能です。HPに13年度の小学生夏休み自由研究を掲載しました。ぜひご覧ください。紙面でお読みになりたい場合は一年間(11回)の送料手数料1100円を定額小為替か小額切手で(3部まで同封可)。URL: science-with-mama.com

梅雨になるわけ

毎年初夏に日本では梅雨がやってきます。梅雨前線と呼ばれる停滞前線が日本の上空に居座り、長雨をもたらします。

同じように秋にも停滞前線が居座る時期があり、そちらは秋の長雨と呼ばれます。

前線という名前は天気予報でもおなじみですが、何の前で何で線なのでしょう。

これは二つの温度や湿度の違う空気の塊のせめぎ合いの境界面を意味しています。

もともとそこにあつた空気より、暖かい空気が押し寄せてきたら、その境界面では暖かい空気の方がもといた冷たい空気の上に乗りに上げるように押し寄せて上空に広がって、換気を押しやりませう。

押し寄せてくる最前線に、境界の線(面)ができるから「前線」なのです。正確には境界面そのものは前線面、その面が地上と交わる線を前線と呼びます。

ちなみに、温かい空気が押し寄せてくるのは温暖前線。乱層雲や高層雲が広く広がります、あまり強くない雨が長く降り続き、温かい空気が来るので気温が上がります。

講演に行った先で、とある園長先生から伺いました。教室移動のとき何人かの園児が廊下端でうずくまって動きません。訳を尋ねたら「みてみて」と言われたそうです。

廊下にしゃがむ

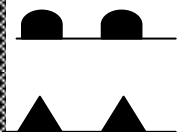
指差す方を見ても、いつこうに何やらわからないのです。が、ふと気がついて、同じようにしゃがみ込んで園児の

逆に、もとあつた空気より冷たい空気が迫ってきたら、これは元あつた空気よりも重いので下に潜り込むように押し進みます。暖かい空気は、前進してくる冷たい空気に添って上に押しのけられ、そこに添って積乱雲が育ち上がっていきます。これが寒冷前線です。強い雨が短時間降り、前線が過ぎると寒くなります。

さて、このような二つの空気塊が、譲らず、もぐり込もうとする方と、這い上がるとうする方がぶつかり合って、ともに居座るのが停滞前線。厚い雲が広がる面がずっと居座ることになります。動きが遅いので、長時間雨が続きことになり、これが、梅雨や秋の長雨になります。

天気図では、線の進行方向側に、温暖前線が半円、寒冷前線が三角で印をつけて区別してありますね。停滞前線は半円と三角が反対向きで描かれます。いずれも低気圧から伸びています。

半円と三角が同じ方に並べて書いてある前線は閉塞前線。寒冷前線が温暖前線に追いついてしまった形で、これが出る。と、やがて低気圧は消滅します。高気圧には前線の線が生えていないことはありません。



目線に合わせたところ、向かいの建物の窓の縁に、鮮やかな虹ができていたそうです。「まあ、きれい！」思わず漏れた言葉に、子供達は満足そうだったとか。うかつに聞き

ん。「あめのひってすてきだな」(偕成社) 雨支度をして大きな傘をさしてジェームズは雨の中に飛び出します。大好きな雨が降りだしたんですもの。「雨、あめ」(評論社) 急な雨だけれど、雨支度してもう一度お外に出てみましょう。本当に様々な発見があります。言葉のない素敵な絵本。「ぞうくんのあめふりさんぼ」(福音館) 雨が降るとゾウ君はご機嫌。散歩に出かけ、池に入っていくとだんだん背が届かなくなって…大丈夫？さて、急な雨にはみんなどんなふうに対処するのでしょうか。あまやどり？おむかえをたのむ？「はっぱのおうち」(同)「かさかしてあげる」(同) どちらも幼児向き、どちらの雨宿りもちょっとおもしろい。「かさもっておむかえ」(同) お父さんに傘を届けるかおる。駅でとら猫に誘われ、ふしぎな電車に乗ります。「あめのりのおくりもの」(同) 大変な嵐！熊さんの活躍。

今月の話題より

ちょっと変わった絵本の楽しみ方

雨降りを取り上げた絵本の中には、いろいろな降り方が出てきます。今日雨、昨日も雨…のような、雨続きの絵本からいきましょうか。「おみせやさんへ」(童心社) 雨で退屈なときはお店屋さんごっこ。雨のしずくの雨坊主達まで買いに来ました。「あめたろう」(岩崎書店) 雲から落ちたあめたろう、お空のおうちに帰りたいよう。「あめふり」(福音館) ばばばあちゃんの突拍子もない晴れごい！雷達はびっくり。「コッコさんとあめふり」(同) てるてる坊主を作っても、作っても、作っても晴れなくて…。雨が降らないかなあと楽しみにされる雨もあります。「あまがさ」(福音館) ニューヨークに住むモモは買ってもらった雨靴と傘を使いたくてたまりませ

クイズ解答 1) 雨が降ると外に出てくる。殻から顔を出すと乾きやすい。体の水分が生きるために重要なので雨が好き。2) 1. 太陽がでない湿度が上がりますし、紫外線で殺菌もされません。